富山大学ＪＡＢＥＥの活用と技術士制度説明会　報告書

１．概要

開催日時　　2025 年 1 月 29 日（水）　14 :45～16:00

開催場所　　富山大学総合教育研究棟多目的ホール

参加者　　・学生（学部 4 年生、M2 対象）、教員　　40 名

　　・日本技術士会富山県支部　　4 名

２．開催趣旨

JABEE 認定コースである富山大学都市デザイン学部（材料デザイン工学科、都市・交通デザイン学科、地球システム科学科）の学生の卒業生（4 年生、大学院 2 年生）を対象として、JABEE と技術士資格の有用性について説明を行い、JABEE 制度についての理解と技術士の普及を図っていくことを狙いとする。

３．プログラム

14:45～14:50　あいさつ　　副学部長　原　隆史　教授

14:50～14:55　富山県支部あいさつ　　支部長　市森　友明

14:55～15:10　JABEE制度の活用と技術士制度　　富山県支部事務局　大門　健一

15:10～15:35　「現役技術士の活躍状況」

ＹＫＫ（株）　若林　尚貴（機械部門）

15:35～16:00　NiX JAPAN（株）上坂　光泰（建設部門）

16:00～16:05　質疑応答

４．開催概要

JABEE 修了認定を受ける学生を対象として JABEE 認定の有用性についての理解を深めてもらうとともに、JABEE 認定の有用性についての説明と技術士取得への契機づけに、技術士からの体験記について話を行った。

写真　説明会風景

５．参加者アンケート

（１）アンケート回答の状況

アンケートには学生の 32 人からの回答があった。材料デザイン工学科（理工学研究科、マテリアル科学工学プログラム（大学院））、地球システム科学科の学生が大部分を占めた。技術者になるかどうかの意向については、約 6 割が技術者になる意向であった。

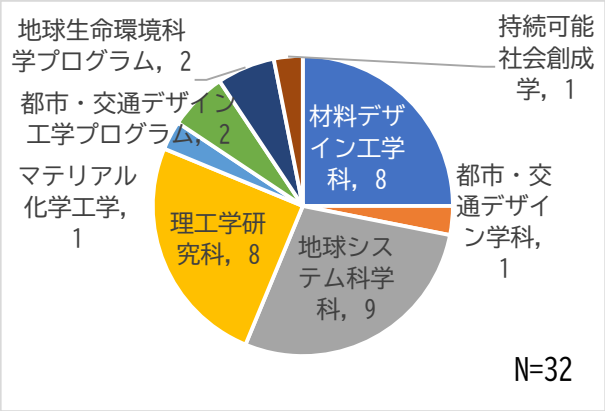

図１　学科の状況

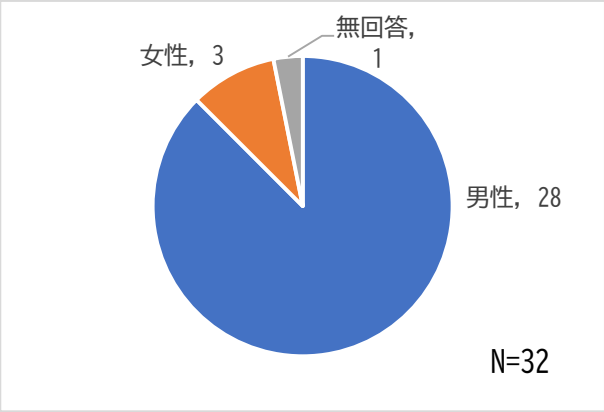

図２　性別の状況

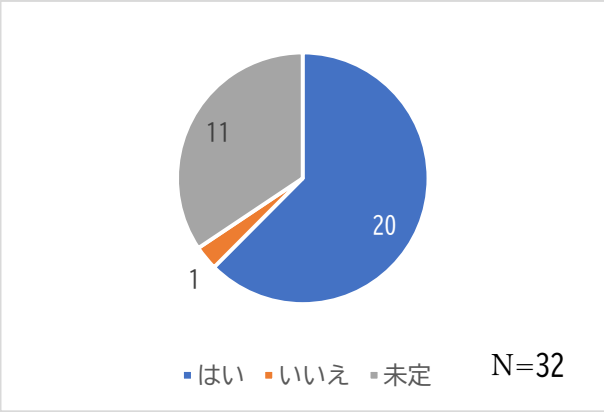

図３　技術者志望状況

（２）JABEE 制度の認知状況

JABEE 制度については制度の内容まで知っている人は全体の約 47%、名称だけ知っているを含めると 100%と、ＪＡＢＥＥについて認知度は高い状況にある。

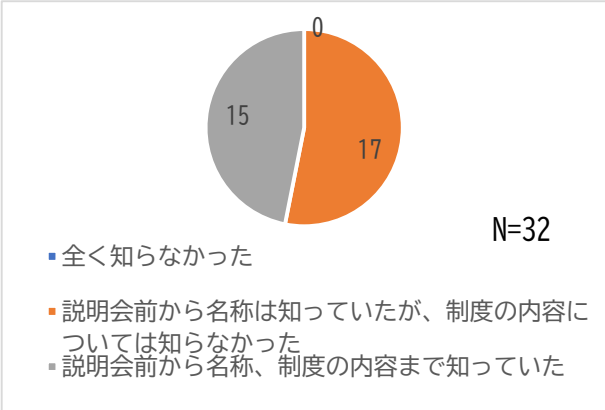

図４　JABEE 制度の認知度

（３）技術士制度の認知状況

技術士の資格についての認知度は名称のみ知っていたを含め、約 91% であったが、制度の内容までは理解されていない人が約 66%を占めている。

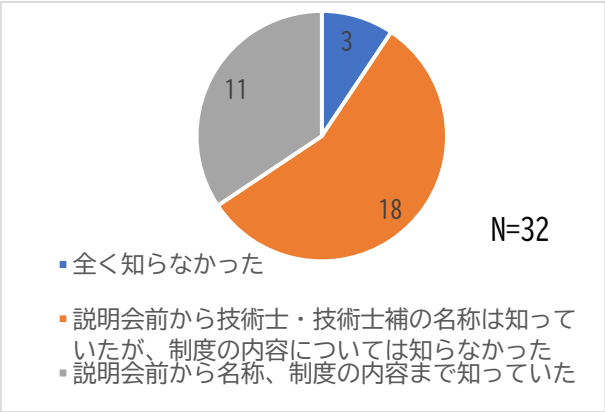

図５　技術士制度の認知度

（４）説明会についての理解度

説明会終了後においてJABEEの利点（②試験免除）について理解できていない人がおらず、説明内容は概ね理解されたものと思われる。

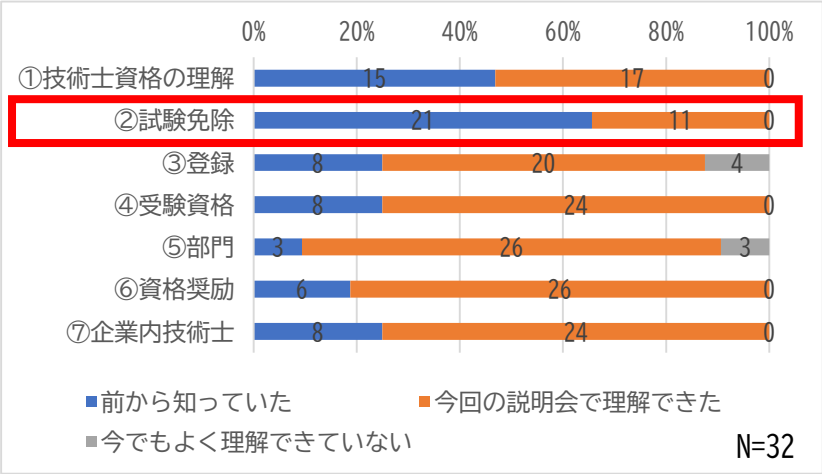

図６　説明会についての理解度

（５）ニーズのある情報

参加者がもっと聞きたい情報としては、例年通り、企業での活躍や処遇の実態が挙げられたほか、技術士補の登録方法、受験資格、技術部門の選び方を聞きたいという意見が多くなっており、技術士受験への興味が高まったと考えられる。

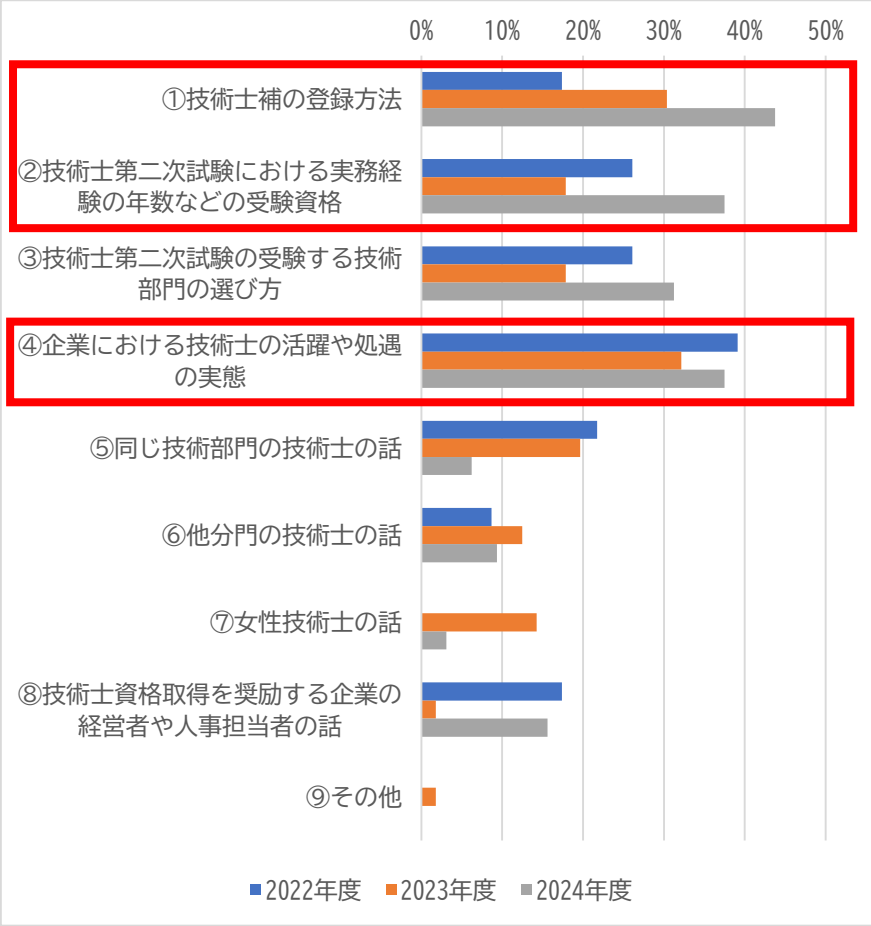

図７　もっと聞きたい事項

（６）技術士を目指そうとする意欲の変化

以前より目指そうと思った学生が約 50%を占め、昨年度までと同等の、効果が見られた。

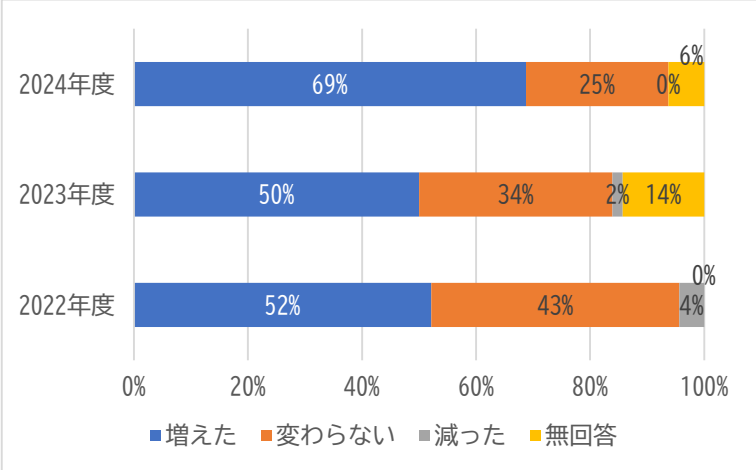

図８　技術士を目指す意欲の変化

（７）説明会についての感想

資料、時間、質疑応答時間についてはちょうどよかったとの回答者が大半であり、適当な長さ、分量であったように考えられる。

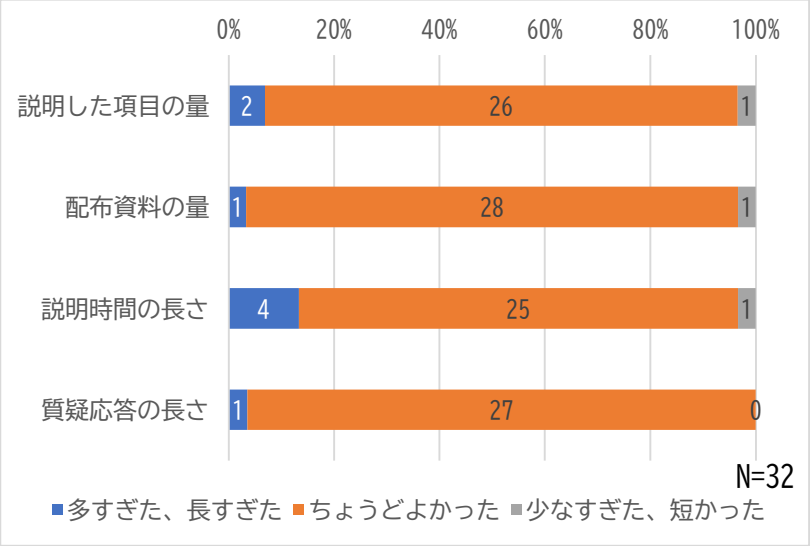

図９　説明会についての感想

（８）技術士会（説明会）としての取り組み方

技術士会の取組みとしては、ホームページ等による情報発信やリーフレットの配布などが多く望まれている。

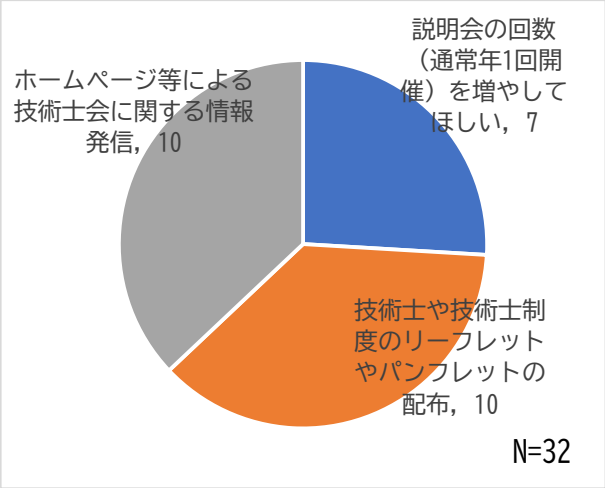

図 10　技術士会（説明会等）の取組みニーズ

６．開催総括

アンケートからは説明会の内容については適切であり、また理解が進んでいることが伺えた。